北海道クルーズ振興協議会総会を４年ぶりに対面での開催
～北海道の魅力を発信し、クルーズ客船の新規寄港誘致を目指して～

令和５年５月２３日（火）、札幌第２合同庁舎９階講堂において、北海道クルーズ振興協議会第２０回総会を開催しました。

冒頭、協議会会長である北海道運輸局　川路次長から「これまで、本総会も書面開催やオンライン開催が続き、皆様と直接お会いして意見交換をする機会として４年ぶりに対面開催となり、大変うれしく思う」との挨拶がありました。

本総会は３３会員機関の出席のもと、令和４年度事業報告と令和５年度事業計画（案）の提案が行われ、満場一致で承認されました。

第１部の終了後、北海道クルーズ振興協議会の設立総会において記念講演を行っていただきました、池田良穂先生（大阪府立大学名誉教授・大阪公立大学客員教授）がご出席されておりましたので、一言ご挨拶と「世界のクルーズ客船の最新動向」についてご報告をいただきました。

第２部は特別講演として、郵船クルーズ株式会社　村山経営企画部長様より「飛鳥クルーズが目指すもの」と題してご講演をいただきました。飛鳥クルーズの、これまでの経緯とこれから何を目指していくのか、日本のクルーズの状況なども踏まえながらお話をしていただきました。
また、２０２５年に新造客船が就航に伴い、新造船の概要について説明がありました。

北海道クルーズ振興協議会としては、承認された事業計画に基づきクルーズ振興を進めていくこととなります。
関係機関の皆様と連携し北海道を発着する定点クルーズの定着に向け積極的に取組を『オール北海道』で進めて参ります。

北海道クルーズ振興協議会川路会長挨拶

池田先生による「世界のクルーズ客船の最新動向」のご報告

郵船クルーズ（株）村山経営企画部長による特別講演